

基本的な施策の指標一覧表

区分	指 標	単位	実績					目標	目標値の考え方	
			R元	R2	R3	R4	R5	R5		
方向1	(1)	木材生産量	万㎡	47.6	42.1	45.2	45.9	45.1	50	森林資源の循環利用可能なスギ・ヒノキ人工林の成長量に相当し、かつ県内の県産材の木材需要に供給していく木材生産量
		ふじのくに林業イノベーションフォーラム参画者数	者	-	37	61	62	75	75	デジタル技術等の先端技術を林業の現場に実装するために必要な技術企業、研究機関、林業経営体、行政機関の参画者数
		森林経営計画認定面積	ha	82,806	83,993	84,023	85,251	80,465	93,600	木材生産量50万㎡を森林経営計画認定森林から生産することを目指し、それに必要な認定面積
		効率的な森林整備を実現する路網の延長（累計）	km	4,680	4,930	5,196	5,413	5,643	5,470	目標とする生産性（主伐7㎡/人日、間伐5㎡/人日）を実現するために必要な路網整備延長
		再造林面積	ha	158	236	213	196	196	500	主伐による木材生産量20万㎡を生産するために必要な森林の伐採跡地を確実に再造林する面積（※再造林面積のR元は国有林除き）
		エリートツリー種子の生産量	万本分	16.1	25.6	22.8	20.4	1.9	61	再造林面積500haに必要な、スギ・ヒノキの優良品種であるエリートツリーの種子の生産量（種子から生産された苗木本数換算）
	(2)	世界基準の認証取得森林面積	ha	71,059	72,536	73,651	74,804	75,663	77,000	木材生産量に占める認証材の割合を約1/3とし、それに必要な森林認証材の面積
		林業への新規就業者数	人	71	81	61	70	64	100	林業作業員1,100人を確保するために必要な新規就業者数
	(3)	森林技術者数	人	529	536	512	538	528	500	木材生産量50万㎡の達成に必要な森林技術者数
		木材生産の労働生産性	㎡/人日	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	5.0	主伐・間伐による木材生産で森林所有者に一定額を還元できる労働生産性
方向2	(1)	持続的経営の定着を図る事業体数	事業体	27	20	30	42	42	44	目標とする労働生産性を有し、木材生産量50万㎡の60%を生産可能な事業体数
		住宅や建築物で利用される品質の確かな県産材製品（JAS製品等）の供給量	万㎡	10.6	9.7	9.9	10.7	10.1	10.5	木材生産量50万㎡を原材料として生産される「しずおか優良木材」やJAS製品等の出荷量
		公共部門の県産材利用量	㎡	21,602	21,170	21,702	23,944	24,523	23,000	公共建築物等木使い推進プランにおいて、建築物の目標単位利用量や整備実績等を勘案して定めた利用量
		森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積	ha	10,144	10,314	11,116	8,589	9,613	11,490	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法に基づき森林吸収源対策として計画した整備面積
		森林経営計画認定面積（再掲）	ha	82,806	83,993	84,023	85,251	80,465	93,600	木材生産量50万㎡を森林経営計画認定森林から生産することを目指し、それに必要な認定面積
		森林の二酸化炭素吸収量を確保する間伐面積	ha	8,897	8,408	9,217	6,880	8,007	9,990	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法に基づき森林吸収源対策として計画した間伐面積
	(2)	効率的な森林整備を実現する路網の延長（累計）（再掲）	km	4,680	4,930	5,196	5,413	5,643	5,470	目標とする生産性（主伐7㎡/人日、間伐5㎡/人日）を実現するために必要な路網整備延長
		再造林面積（再掲）	ha	158	236	213	196	196	500	主伐による木材生産量20万㎡を生産するために必要な森林の伐採跡地を確実に再造林する面積（※再造林面積のR元は国有林除き）
		山地災害危険地区の整備地区数（累計）	地区	4,092	4,103	4,112	4,126	4,138	4,127	新規着手数の実績を勘案した半年度の増加数を累計した整備地区数
		ふじのくに森の防潮堤づくり（中東遠地域）の整備延長（累計）	m	8,701	9,840	11,012	12,066	13,420	13,800	海岸防災林において関係各市が嵩上げを行う「静岡モデル」防潮堤の整備計画延長
(3)	森の力再生面積（累計）	ha	16,652	17,987	18,924	19,711	20,710	21,339	緊急に整備する必要がある荒廃森林として計画した第1期（H18～27）及び第2期（H28～R2）実績に第2期残計画の年次計画を加えた累計整備計画面積	
	公益的機能を持続的に発揮している保安林の割合	%	83	84	87	90	91	88	静岡県保安林機能倍増計画で定めた森林整備実施等により公益的機能を持続的に発揮している保安林の割合	
	一定規模以上の開発行為に伴う自然環境保全協定締結率	%	-	100	100	100	100	100	H30～R2の実績をもとにした自然環境保全条例に基づく締結率	
	森づくり県民大作戦参加者数	人	28,149	11,898	12,972	17,632	19,317	19,000	新型コロナウイルス感染症の影響が生じる以前のH26～28の平均参加者数に回復	
方向3	(1)	SNSによる森林・林業に関する情報発信件数	件	358	220	204	373	315	365	1日1件の発信を目標として設定
		自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数	回	216	141	141	169	196	180	H30～R2の自然体験プログラム実施回数の平均値を維持
		しずおか未来の森サポーター企業数（累計）	社	130	134	143	148	152	140	R元～R4の平均増加数を維持
		森林環境教育指導者養成人数（養成講座修了者数）（累計）	人	23	51	75	99	117	110	過去3年間の実績をもとに、年間20人程度増を目標
	(2)	効率的な森林整備を実現する路網の延長（累計）（再掲）	km	4,680	4,930	5,196	5,413	5,643	5,470	目標とする生産性（主伐7㎡/人日、間伐5㎡/人日）を実現するために必要な路網整備延長
		しいたけ生産量	トン	2,163	2,358	1,968	1,759	1,635	2,300	乾しいたけは東日本大震災以降の風評被害前の水準への回復、生しいたけは現状維持を目指す生産量
方向4	(1)	森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積（再掲）	ha	10,144	10,314	11,116	8,589	9,613	11,490	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法に基づき森林吸収源対策として計画した整備面積
		森林の二酸化炭素吸収量を確保する間伐面積（再掲）	ha	8,897	8,408	9,217	6,880	8,007	9,990	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法に基づき森林吸収源対策として計画した間伐面積
		再造林面積（再掲）	ha	158	236	213	196	196	500	主伐による木材生産量20万㎡を生産するために必要な森林の伐採跡地を確実に再造林する面積（※再造林面積のR元は国有林除き）
	(2)	公共部門の県産材利用量（再掲）	㎡	21,602	21,170	21,702	23,944	24,523	23,000	公共建築物等木使い推進プランにおいて、建築物の目標単位利用量や整備実績等を勘案して定めた利用量
		住宅や建築物で利用される品質の確かな県産材製品（JAS製品等）の供給量（再掲）	万㎡	10.6	9.7	9.9	10.7	10.1	10.5	木材生産量50万㎡を原材料として生産される「しずおか優良木材」やJAS製品等の出荷量
		木質バイオマス（チップ）用材生産量	万㎡	-	5.7	6.3	10.1	11.0	10.0	木材生産量50万㎡のうち、製材用材と合板用材の割合を除いた生産量